

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学8							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	2期	住吉 泰之		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
柔道整復師で取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられるようになるため、損傷に係わる運動器の病理的变化について理解する。							
目標							
一般目標 (GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	臨床現場を想定した障害を病理的变化について理解し習得し、将来遭遇する場面を想定しこれまでの学習を醸成する。						
	到達目標 (SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1.自覚症状と他覚症状の区別ができ選択肢から正しいものを選ぶことができる 2.炎症5大徴候、急性炎症と慢性炎症の区別ができ選択肢から正しいものを選ぶことができる 3.アレルギーのメカニズムを理解し、I～V型アレルギーの把握ができ選択肢から正しいものを選ぶことができる 4.萎縮の状態、原因別のができ選択肢から正しいものを選ぶことができる 5.充血とうっ血の区別ができ、重要組織の阻血状態のができ選択肢から正しいものを選ぶことができる					
履修に必要な予備知識や技能							
関連科目の理解と運動器系の解剖学的構造、生理的機能の把握が必要であるため、自己学習を怠らないこと。							
教科書・参考書							
主要参考書:『病理学』 副参考書:『整形外科科学』『柔道整復学・理論編』							
受講上の注意							
今まで学んできた知識の集大成となる科目の1つであり、将来の活躍に活かすためにも予習・復習を心がけて臨んでいただきたい。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	現時点での学習内容確認 【炎症症状、アレルギー、萎縮、免疫、腫瘍】				主要参考書 筆記用具		
第2回	自覚症状・他覚症状 【自覚症状と他覚症状の区別】				主要参考書 筆記用具		
第3回	炎症症状・炎症性疾患 【炎症5大徴候、急性炎症と慢性炎症の区別】				主要参考書 筆記用具		
第4回	アレルギー性症状 【アレルギーのメカニズム、I～V型アレルギーの把握】				主要参考書 筆記用具		
第5回	萎縮性症状 【萎縮の状態、原因別の把握】				主要参考書 筆記用具		
第6回	充血症状・うっ血症状・阻血症状 【充血とうっ血の区別、重要組織の阻血状態の把握】				主要参考書 筆記用具		
第7回	免疫系統・自己免疫疾患 【免疫のメカニズム、自己免疫疾患の把握】				主要参考書 筆記用具		
第8回	壊死性疾患・腫瘍疾患 【壊死状態の把握と重要組織、悪性腫瘍の特徴】				主要参考書 筆記用具		
第9回	遺伝子性疾患・外的要因/内的要因 【遺伝子疾患の把握、外的要因と内的要因の区別】				主要参考書 筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
本校卒業した柔道整復師・接骨院勤務歴12年。 柔道整復師として施術現場とかかわる柔道整復理論を講義します。 また、本校のOBとして、特に重視するべき点をお伝えいたします。							
メールアドレス							
sumiyoshi@nihonisen.ac.jp							